

# 「バリアフリー食“凍結含浸”」ワークショップ活動報告 ⑫

H25.11.29 ワークショップ事務局

## 1 プラチナ世代55フェア2013

日時：平成25年11月24日（日） 場所：広島県立産業会館西館

- このイベントは、プラチナ世代（概ね55才以上）、幅広い世代の方々に、地域デビューに向けてのきっかけやヒントを得ていただけるよう、参加・交流・体験型のイベントとして実施されたものです。イベント来場者数は、約1,800名とのことです。
- 広島発の「凍結含浸」について、特に県内の幅広い世代の方々に対して認知度を高める上で効果的なPR機会のひとつと考え、昨年に引き続き、当ワークショップとして出展しました。

## 2 展示PRの様子

- 当ワークショップの展示ブースでは、パソコンやDVDによる技術説明・商品PRビデオに加え、実際の商品サンプルやカタログを展示紹介し、約60名の方が立ち寄られました。



イベント会場には中高年以上を中心に約1,800名が来場



当ブース全景



商品実物とチラシカタログを展示紹介



ブース来場者も興味津々

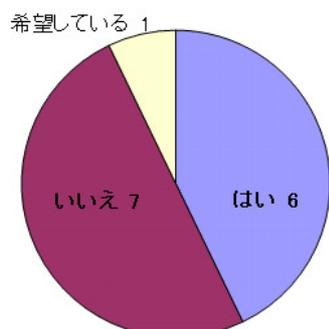
## 3 ブース来場者認知度アンケート結果（概要）

### ① 回答者 14名

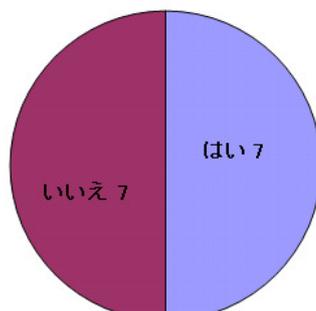
【内訳】年齢層別 ~29才 1名, 30~49才 3名, 50~59才 3名, 60~69才 4名, 70才~ 3名  
所在地別 県内 14名, 県外 0名

### ② 回答者の介護との関わり背景

Q 介護関係の仕事をされていますか？  
(されたことがありますか？)

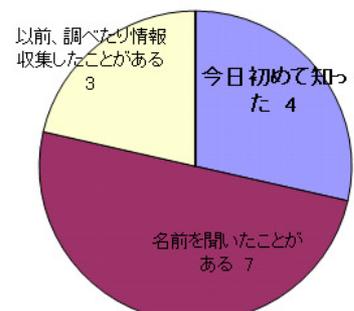


Q ご家族等の介護等をされていますか？  
(されたことがありますか？)



### ③凍結含浸についての認知状況

Q 凍結含浸(技術や調理 食品・食事など)について  
ご存知でしたか？



#### 4 総括

- ブース来場者の方からは、凍結含浸について「つい最近も、テレビでやっていたよね」「昨日も新聞で見たよ(※)」という声がよく聞かれました。ブース来場者アンケートでは、昨年と同じく(H24.11.21 活動報告Ⅲ 参照)3人に2人が「凍結含浸の名前を聞いたことがある」という結果で、一定の認知は定着していると感じられましたが、凍結含浸が「広島発」の技術であることには「そうなの」「知らなかった」と驚かれる方が大半でした。

(※) イベント前日(平成25年11月23日 朝日新聞朝刊)に凍結含浸介護食に関する記事が掲載

- 凍結含浸商品の「見た目そのままに軟らかい」特長については、「食べたいと思えること、そして、口から食べることが大切」というところからお話すると、どなたも納得いただけたように思います。
- 展示紹介した各社の商品について、ブース来場者の多くが「どこで買えるのか」と関心を持たれ、「値段も思ったより安い」「そんなに高くないのね」「早速通販等で購入したい」「勉強したい」とチラシやカタログを持ち帰られました。
- なお、家庭で(料理するのではなく)介護食品を買うということについては、「そもそも年取ってからの食事作りは大変なの」「あると便利よね」「いまでは普通の食事でも宅配になってきたりしているのだし」など肯定的な方が多く、抵抗感があるとする意見が全く出なかった点、昨年とはブース来場者の全体的な反応が少し変わったように感じました。
- 凍結含浸食品の利用普及に向けて、こうした生の声の変化もとらえつつ、利用者の理解につながるよう当ワークショップ活動を展開していく必要があると考えています。